

徳島大学生物資源産業学部新入生が鳴門庁舎で実習

Key word; 徳島大学, 生物資源産業学部, 水圏教育研究センター, 実習

平成 28 年 5 月 21, 22, 28 日に各 35 人計 105 名の新入生の実習が鳴門庁舎と隣接する徳島大学生物資源産業学部水圏教育研究センターで実施されました。今回の実習は新入生が水産研究に関する調査や作業を経験して, 水産研究のフィールドを体感し, 水産業への理解を深めることを目的としています。当日, 新入生は研修室でガイダンスと講義を受けた後, 3 班に分かれ, 漁業観察, 漁業実習(堂浦漁港からの鳴門海峡へのクルージング), 水産研究課の水槽での小型水中テレビロボットの操作(写真 1)と棧橋からの海洋観測実習及び水産研究課の見学, ワカメ養殖に関する座学と顕微鏡観察, スケッチなどを体験しました。水産研究課は実習の場を提供するとともに職員が徳島県の漁業の概要説明や施設説明などで協力しました。



写真 1. 水産研究課鳴門庁舎における新入生による小型水中テレビロボットの操作実習(平成 28 年 5 月 22 日)。水圏教育研究センターの職員から操作について説明を受ける新入生